

取扱説明書

ScreenManager® Pro

Ver. 1.2

重要

ご使用前には必ずこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。

-
- 最新のソフトウェアおよび取扱説明書は、当社のWeb サイトからダウンロードできます。

<http://www.eizo.co.jp>



-
- 1.本書の著作権はEIZO株式会社に帰属します。本書の一部あるいは全部をEIZO株式会社からの事前の許諾を得ることなく転載することは固くお断りします。
 - 2.本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
 - 3.本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
 - 4.本機の使用を理由とする損害、逸失利益などの請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
-

目次

目次	3	第9章 EyeCare Reminder	20
第1章 はじめに	4	第10章 ホットキー	21
1-1. 特長	4	第11章 サーカディアン調光	22
第2章 セットアップ	5	● 動作条件	22
2-1. 動作条件	5	11-1. サーカディアン調光の設定	23
2-2. インストール	6	11-2. サーカディアン調光の動作確認（プレ ビュー）	23
● アイコンの表示	7	第12章 EIZO EcoView NET	24
2-3. アンインストール	8	第13章 マルチモニター環境で使用する	25
● Windows 10	8	第14章 こんなときは	26
● Windows 8.1	8	第15章 用語集	27
● Windows 8	8	付録	28
● Windows 7	8	商標	28
第3章 アプリケーションの起動と終了	9		
3-1. アプリケーションの起動	9		
3-2. アプリケーションの終了	9		
3-3. バージョン情報	9		
第4章 オートカラー	10		
4-1. オートカラーの設定	10		
4-2. 未登録アプリケーションへのカラーモード の関連付け	11		
4-3. マルチモニター環境での設定	11		
第5章 カラー調整	12		
5-1. カラー調整	12		
5-2. カラー調整データの登録と読み出し	13		
● 登録	13		
● 削除	13		
● 読み出し	13		
第6章 Multi-Monitor Match	14		
● 動作条件	14		
第7章 EcoView	16		
7-1. EcoViewの設定	17		
7-2. マルチモニター環境でのEcoView Sense連 動設定	18		
第8章 EyeCare Filter	19		

第1章 はじめに

ScreenManager Proは、USB インターフェースを介して、マウスとキーボードを使ってコンピュータからモニターを調整するソフトウェアです。

1-1. 特長

● オートカラー機能

アプリケーションにそれぞれカラーモードを登録することで、アプリケーションごとにモニターのカラーモードを自動で切り替えることができます。

参考：使用例

1. 特定のアプリケーション専用に調整したカラーモードを、オートカラー機能でアプリケーションに登録します
2. 登録したアプリケーションを起動します。専用のモニター設定に切り替わります

● カラー調整

モニターのカラー調整機能をソフトウェアからコントロールすることができます。また調整値をデータで保存し、読み出すことができます。

● Multi-Monitor Match

特定のモニターで設定したカラー調整結果（色温度、ガンマ値、ブライトネス）をその他のモニターに反映することができます。これによって、それぞれのモニターを調整する手間がなくなり、モニター間の見た目のばらつきを解消することができます。

● EcoView

モニター本体に搭載されているEcoView機能をソフトウェアから設定できます。この機能を使うことで消費電力を抑えることができます。

● EyeCare Filter

デスクトップの最前面に、半透明の画像をフィルタとして表示することで紙の質感を再現できます。Paper モードを搭載しているモニターは、Paper モードと組み合わせて使用すると、より紙の見え方に近づけることができます。

● EyeCare Reminder

任意のポップアップメッセージを定期的に表示させることができます。この機能を使うことで適度な休憩を促し、目の疲れの軽減に役立てることができます。

● ホットキー設定

モニターの電源のオン、オフ操作をキーボードの任意のキーに登録することができます。

● サーカディアン調光

モニターの色温度をサーカディアンリズム（概日リズム）のメカニズムに沿って自動的に変更し、モニターから発生するブルーライトの量を制御します。夕方から夜間にかけてブルーライトの量を低減するように制御すると、睡眠への悪影響を抑えることができます。

● EIZO EcoView NET Client

ソフトウェア「EIZO EcoView NET Client」を搭載しています。ネットワーク上のコンピュータに接続されたモニターの電源や画面の明るさを一括管理することができます。

第2章 セットアップ

2-1. 動作条件

ScreenManager Proを使用するには、次の環境が必要です。

OS	Microsoft Windows 10（32ビット版および64ビット版） Microsoft Windows 8.1（32ビット版および64ビット版） Microsoft Windows 8（32ビット版および64ビット版） Microsoft Windows 7 Service Pack 1（32ビット版および64ビット版）
ソフトウェア	Windows 10の場合：Microsoft .NET Framework 4.6 その他のOSの場合：Microsoft .NET Framework 4.5.2
コンピュータ	USBポート標準搭載

注意点

- モニターを2台以上接続している場合は、それぞれのモニターに独立した画面を表示してください。同じ画面をそれぞれのモニターに表示したり、画面を複数のモニターにわたって表示すると、ScreenManager Proでの調整ができません。設定を変更する場合は、次の手順を実施してください。

- デスクトップ上の何も表示されていないところで右クリックします
- 「画面の解像度」（Windows 8.1 / Windows 8 / Windows 7）または「ディスプレイ設定」（Windows 10）を選択します
- 「複数のディスプレイ」で「表示画面を拡張する」を選択します
- 「適用」をクリックします



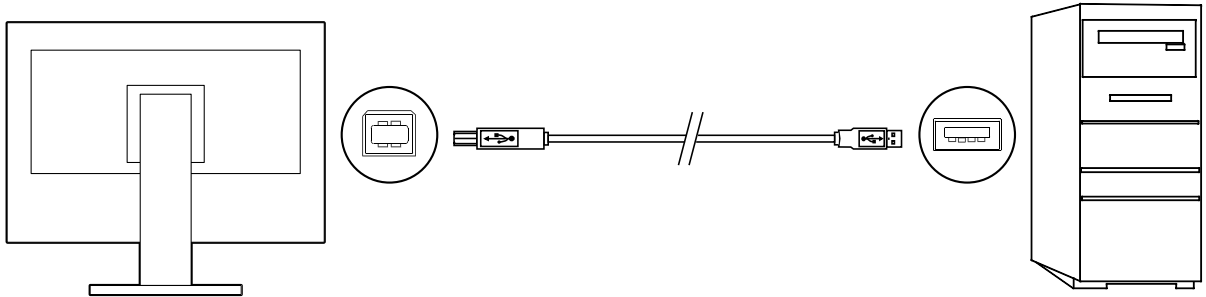
それぞれのモニターに独立した画面を表示（○） それぞれのモニターに同じ画面を表示（×） 複数のモニターにわたって画面を表示（×）

- 次のソフトウェアはScreenManager Proと同時に使用することができません。インストールされている場合、ScreenManager Proのインストール時にアンインストールされます。
 - ScreenManager Pro for LCD
 - ScreenManager Pro for LCD（DDC/CI）
 - ScreenManager Pro for Medical
 - ScreenManager Pro for Gaming
 - G-Ignition

2-2. インストール

1. USBケーブルを接続します

コンピュータのUSBダウンストリームポートとモニターのUSBアップストリームポートを、USBケーブルで接続します。



参考

- USB機器のセットアップについては、モニターの取扱説明書を参照してください。
-

2. ダウンロードしたファイルを解凍後、「Launcher.exe」をダブルクリックします

メニュー画面が表示されます。

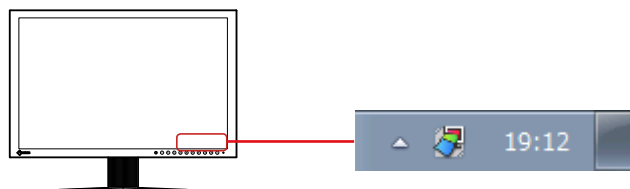
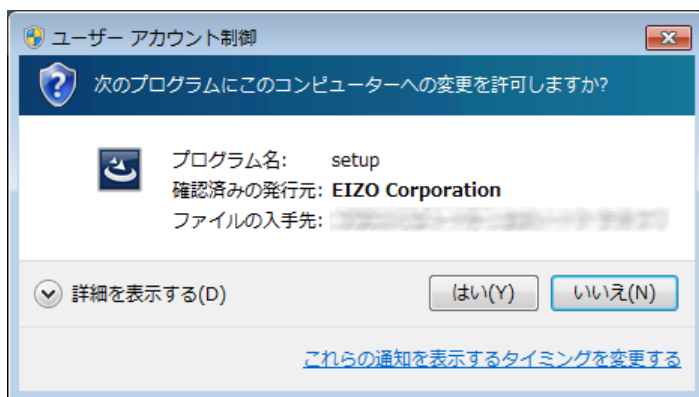
3. 「ScreenManager Pro」をクリックします

4. 「インストール」をクリックします

インストールが完了すると、ScreenManager Proのアイコンがタスクトレイに表示されます。



参考

- 「ユーザーアカウント制御」ダイアログボックスが表示される場合があります。
「はい」をクリックすると、メニューが起動します。



● アイコンの表示

ScreenManager Pro実行中は常時タスクトレイにアイコンが表示されます。ソフトウェアの状態により表示が異なります。アイコンがタスクトレイに表示されていない場合は、タスクバーの右側にある上向きの三角（△）をクリックしてください。

	ScreenManager Pro は使用可能です。
	ScreenManager Pro は使用できません。対処方法は、「 2. アイコンが白黒表示される 」(P.26) を参照してください。

参考

- このソフトウェアとモニターの調整画面を同時に表示することはできません。
- ScreenManager Proを起動すると、モニターの「DP HPD Contorl」の設定がOnに、「USB Power Save」がOffになります。詳細は、モニターの取扱説明書を参照してください。
- マルチモニター環境で使用する場合、「[第 13 章 マルチモニター環境で使用する](#)」(P.25) を参照してください。

2-3. アンインストール

● Windows 10

1. 「スタート」－「設定」－「システム」－「アプリと機能」を選択します
2. リストから「ScreenManager Pro」を選択し、「アンインストール」をクリックします

画面の指示に従って、ソフトウェアをアンインストールします。

● Windows 8.1

1. 「スタート」画面下のⓉをクリックします
「アプリ」画面が表示されます。
2. 「Windowsシステムツール」－「コントロールパネル」－「プログラム」－「プログラムのアンインストール」を選択します
3. リストから「ScreenManager Pro」を選択し、「アンインストール」をクリックします

画面の指示に従って、ソフトウェアをアンインストールします。

● Windows 8

1. 「スタート」画面上のタイルがない場所で右クリックします
画面の下部にアプリコマンドが表示されます。
2. 「すべてのアプリ」－「Windowsシステムツール」－「コントロールパネル」－「プログラム」－「プログラムのアンインストール」を選択します
3. リストから「ScreenManager Pro」を選択し、「アンインストール」をクリックします

画面の指示に従って、ソフトウェアをアンインストールします。

● Windows 7

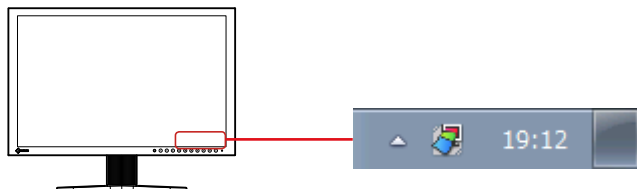
1. 「スタート」－「コントロールパネル」－「プログラム」－「プログラムのアンインストール」を選択します
2. リストから「ScreenManager Pro」を選択し、「アンインストール」をクリックします

画面の指示に従って、ソフトウェアをアンインストールします。

第3章 アプリケーションの起動と終了

3-1. アプリケーションの起動

1. タスクトレイのScreenManager Proアイコンを右クリックします

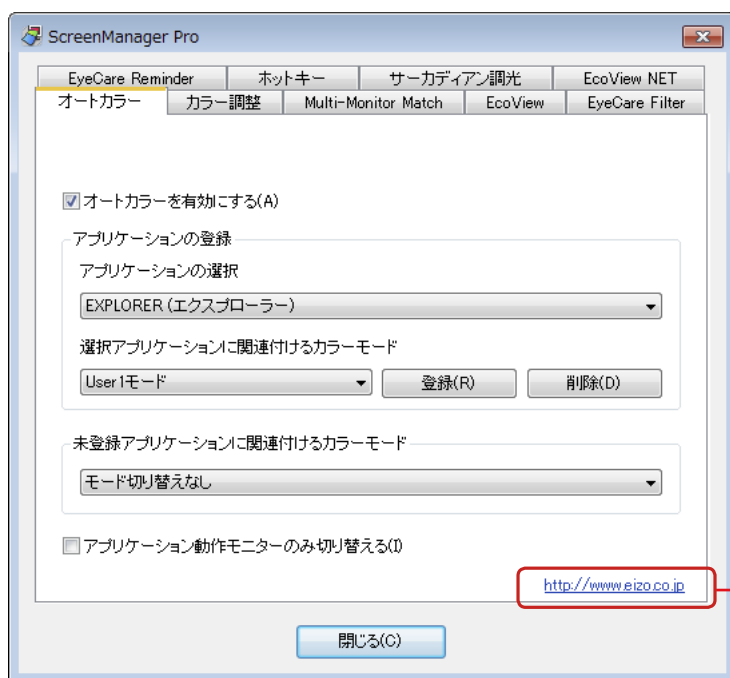


2. リストから「ScreenManager Proの設定」を選択します

ScreenManager Proの設定画面が表示されます。

参考

- ・タスクトレイのScreenManager Proアイコンをダブルクリックしても設定画面が表示されます。
- ・タスクトレイにScreenManager Proアイコンがない場合は、「[1.アイコンがタスクトレイにない](#)」(P.26)を参照してください。



当社Webサイトが開きます。

3-2. アプリケーションの終了

1. 「閉じる」をクリックします

3-3. バージョン情報

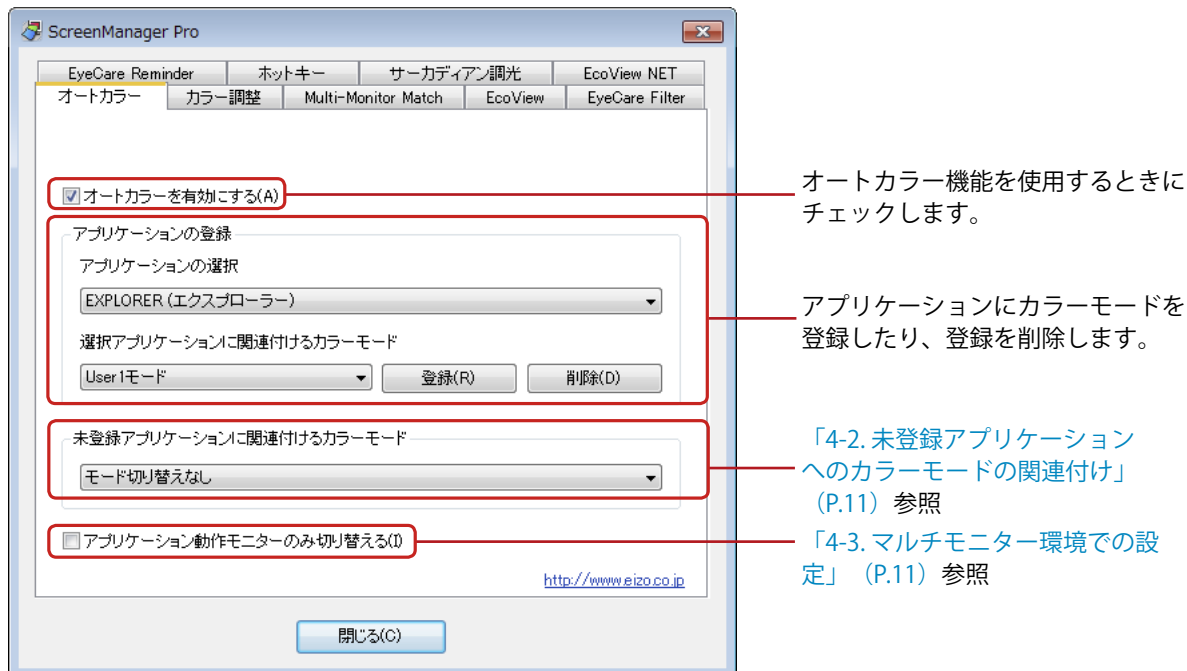
ScreenManager Proのバージョンは、ScreenManager Proタイトルバー左端にあるアイコンをクリックし、「バージョン情報」をクリックして表示します。

第4章 オートカラー

アプリケーションにそれぞれカラーモードを登録することで、アプリケーションごとにモニターのカラーモードを自動で切り替えることができます。

注意点

- ・オートカラーを機能させるためには、タスクトレイにScreenManager Proアイコンが常駐している必要があります。



4-1. オートカラーの設定

オートカラーを設定するには、次の手順でアプリケーションにカラーモードを関連付けて登録します。

1. 「オートカラーを有効にする」をチェックします
2. 「アプリケーションの選択」プルダウンメニューから、アプリケーションを選択します

参考

- ・プルダウンメニューには、起動中のアプリケーション名と、すでに登録されているアプリケーション名が表示されます。
- ・Windowsのデスクトップに対しては、カラーモードを登録できません。

3. 「選択アプリケーションに関連付けるカラーモード」プルダウンメニューから、カラーモードを選択します

参考

- ・モニター機種によって、プルダウンメニューに表示されるカラーモードが異なります。
- ・カラーモードの詳細は、モニターの取扱説明書を参照してください。

4. 「登録」をクリックします

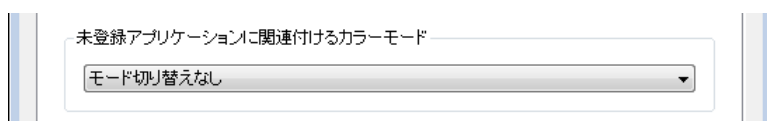
アプリケーションとカラーモードの関連付けが登録されます。

5. 続けてアプリケーションを登録する場合は、手順2～4を繰り返します

6. 「閉じる」をクリックします

オートカラーの設定が有効になります。登録したアプリケーションがアクティブになったときに、モニターのカラーモードがアプリケーションに関連付けられているカラーモードに自動で切り替わります。

4-2. 未登録アプリケーションへのカラーモードの関連付け



「アプリケーションの登録」で特定のカラーモードを登録していないアプリケーションに対してカラーモードを関連付けます。未登録のアプリケーションがアクティブになった場合、モニターのカラーモードが、関連付けられたカラーモードに自動的に切り替わります。

1. 「未登録アプリケーションに関連付けるカラーモード」プルダウンメニューからカラーモードを選択して設定します

参考

- ・「モード切り替えなし」を選択するとカラーモードは表示状態のまま切り替わりません。

4-3. マルチモニター環境での設定

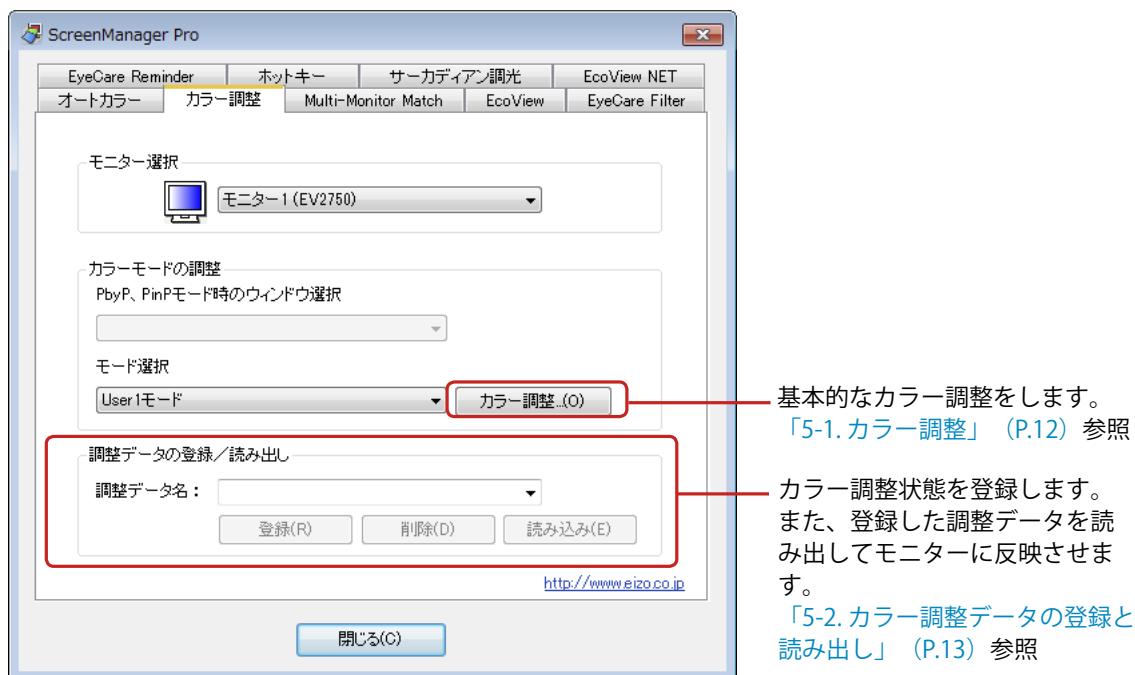
「アプリケーション動作モニターのみ切り替える」をチェックすると、アプリケーションが動作しているモニターのみオートカラーを機能させることができます。

参考

- ・複数のモニター画面にわたってアプリケーションを表示する場合は、最も広い領域が表示されているモニターのカラーモードが切り替わります。
- ・モニターをPbyPまたはPinPで表示している場合、アプリケーションが表示されている画面のみ、カラーモードが切り替わります。

第5章 カラー調整

カラーモードごとに、独立したカラー調整の設定ができます。調整状態をカラーデータとしてコンピュータに登録して、読み出すこともできます。



5-1. カラー調整

1. マルチモニター環境の場合、調整するモニターを「モニター選択」のプルダウンメニューから選択します
2. 選択したモニターが、Picture by Picture (PbyP) またはPicture in Picture (PinP) 機能を使って複数の画面を表示している場合、調整する画面を「PbyP、PinPモード時のウィンドウ選択」のプルダウンメニューから選択します
3. 「モード選択」のプルダウンメニューから、カラー調整の対象となるカラーモードを選択します
4. 「カラー調整」をクリックします
カラー調整画面が表示されます。

5. 各パラメータの調整をおこないます

モニターと同様に、「ブライトネス」や「コントラスト」などの調整ができます。

この画面で調整できる項目は、ご使用のモニターのカラー調整機能で調整できる項目と同じです。モニターのカラー調整機能で調整できる項目は、モニターの取扱説明書を参照してください。



参考

- ・「リセット」をクリックすると、現在使用しているカラーモードのみ、工場調整状態に戻ります。

6. 「OK」をクリックします

カラー調整の設定が有効になります。

5-2. カラー調整データの登録と読み出し

「カラー調整」タブで調整したカラー調整データを任意の名前で登録できます。また、登録したデータを読み出すことで、各パラメータ調整の調整値を一括してモニターに反映することができます。

● 登録

「調整データ名」のテキストボックスに任意の名前を入力して、「登録」をクリックします。

● 削除

「調整データ名」のプルダウンメニューから、カラー調整データ名を選択して、「削除」をクリックします。選択したカラー調整データが削除されます。

● 読み出し

「調整データ名」のプルダウンメニューから、カラー調整データ名を選択して、「読み込み」をクリックします。選択したカラー調整データがモニターに反映されます。

参考

- ・カラー調整データを読み込むと、「EcoView」タブの「Auto EcoView設定」が、カラー調整データを登録した時点の設定に変更されます。
- ・モニターをPbyPまたはPinPで表示している場合、「PbyP、PinPモード時のウィンドウ選択」で選択している画面にのみ、カラー調整データが反映されます。

第 6 章 Multi-Monitor Match

Multi-Monitor Match機能を使うと、特定のモニターで設定したカラー調整結果（色温度、ガンマ値、ブライトネス）をその他のモニターに反映することができます。これによって、それぞれのモニターを調整する手間がなくなり、モニター間の見た目のばらつきを解消することができます。

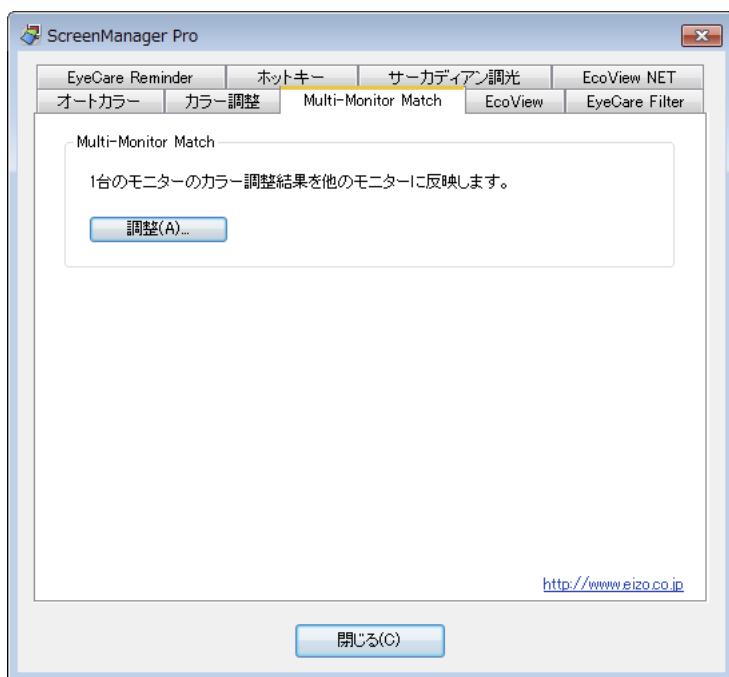
注意点

- この機能を使用すると、すべての対象モニターのAuto EcoViewが「オフ」になります。

● 動作条件

この機能を使用するには、次のすべての動作条件を満たしている必要があります。

- 1台のコンピュータに複数のモニターを接続
- PbyP、PinP対応モニターの場合、モニターの表示設定を「1画面」に設定

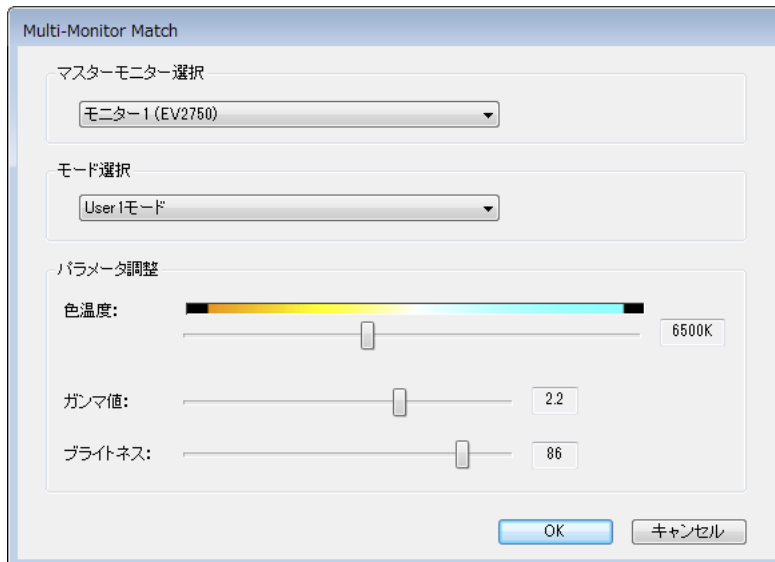


1. 「調整」をクリックします

参考

- ・「動作条件」(P.14)を満たしていない場合は、「調整」ボタンがクリックできません。

2. 基準とするマスターモニターとカラーモードをプルダウンメニューから選択します



3. 色温度、ガンマ値、ブライトネスを調整して、「OK」をクリックします

マスターモニターの調整結果が、その他のモニターに反映されます。

参考

- ・色温度は「オフ」に設定できません。
- ・選択したカラーモードによっては、色温度およびガンマ値が変更できない場合があります。各モードで変更できる項目については、モニターの取扱説明書を参照してください。
- ・接続しているモニターごとに最大輝度値が異なる場合、最大輝度値が最も低い機種に基づいて調整されます。そのため、この画面で調整できるブライトネス値が100%より小さい場合があります。
- ・この機能を実行すると、モニター間の実際の明るさ（輝度値）が一致するように調整されます。そのため、モニターの設定メニューに表示される「ブライトネス」の値が、モニターごとに異なる場合があります。
- ・Multi-Monitor Match による調整完了後に、さらに各モニターを微調整する場合は、設定メニューの「ブライトネス」および「ゲイン」の値を変更してください。

第7章 EcoView

モニター本体に搭載されているEcoView機能をソフトウェアから設定できます。この機能を使うことで消費電力を抑えることができます。EcoView機能の詳細設定については、モニターの取扱説明書を参照してください。

- Auto EcoView（オートエコビュー）機能

モニター正面の外光センサーが周囲の明るさを検知し、自動的に画面の明るさを調整します。不必要に明るくすると、消費電力の増加により環境に悪影響を及ぼし、目にも負荷を与えます。また、自動調整の範囲をお好みに合わせて設定することもできます。

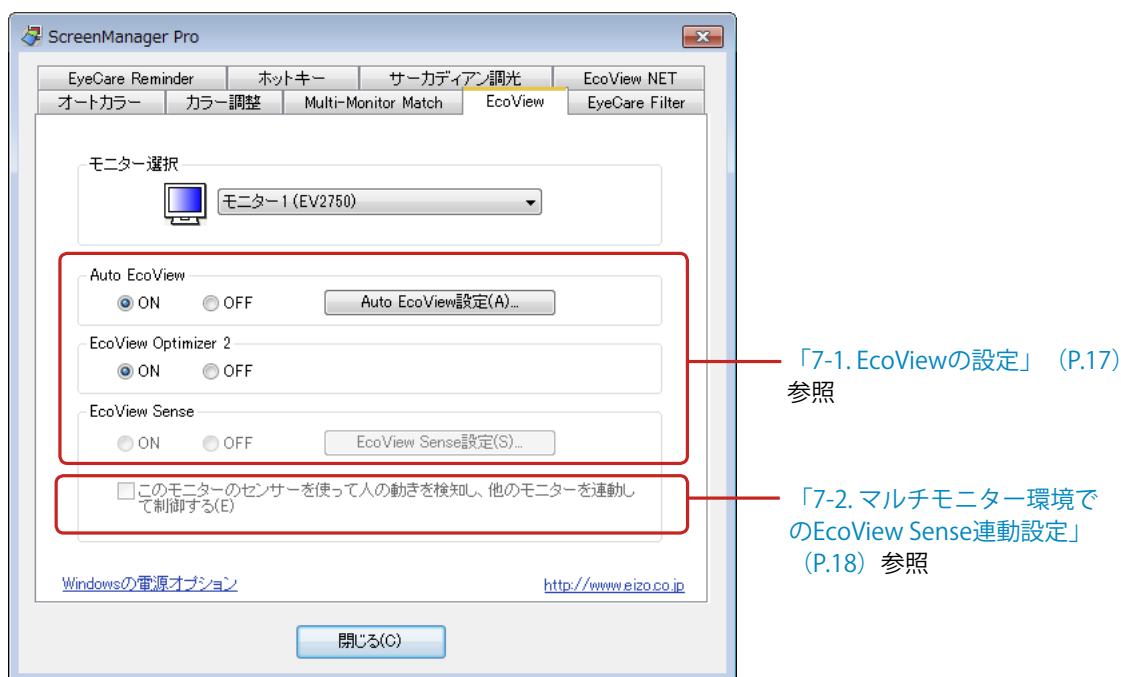
- EcoView Optimizer 2（エコビューオプティマイザー2）機能

入力信号の白レベルに応じて自動的に画面の明るさを調整します。入力信号の明るさを維持しながら、消費電力を削減することができます。

- EcoView Sense（エコビューセンス）機能※1

モニター正面のセンサーが人の動きを検知します。人がモニターから離れると、モニターは自動的に省電力モードに移行して画面を非表示にするため、消費電力の低減につながります。モニターの使用環境や使用者の動作量に応じて、感度、省電力モードに移行するまでの時間を設定できます。

※1 FlexScan EV2750には搭載されていません。

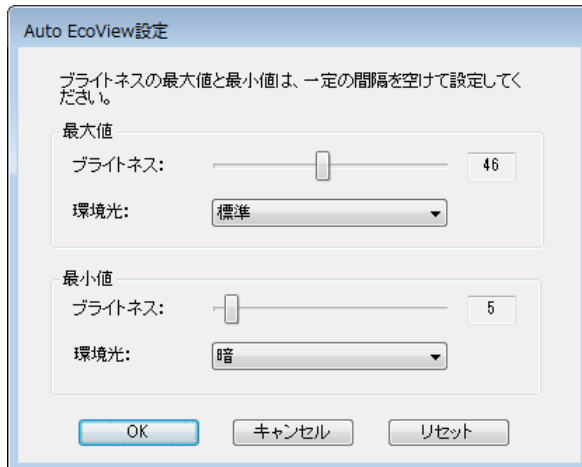


7-1. EcoViewの設定

1. マルチモニター環境の場合、調整するモニターを「モニター選択」のプルダウンメニューから選択します

2. Auto EcoViewの「ON」または「OFF」を選択します

「Auto EcoView設定」で、モニターの使用環境やお好みに合わせて、自動調整の範囲を設定することもできます。



「OK」をクリックすると、設定が有効になります。

参考

- ・ブライツネスの最大値と最小値は、一定の間隔を空けて設定してください。一定の間隔がないと、「OK」をクリックして設定を保存することができない場合があります。
- ・「リセット」をクリックすると、工場調整状態に戻ります。

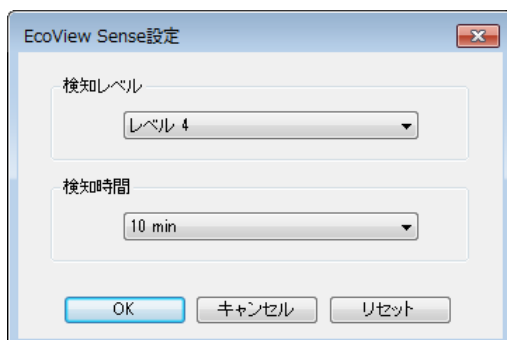
3. EcoView Optimizer 2の「ON」または「OFF」を選択します

4. EcoView Senseの「ON」または「OFF」を選択します

参考

- ・モニターの「パワーセーブ」が「オフ」に設定されている場合、EcoView Senseの設定を変更できません。

「EcoView Sense設定」で、モニターの使用環境や使用者の動作量に応じて、感度、省電力モードに移行するまでの時間を設定することもできます。



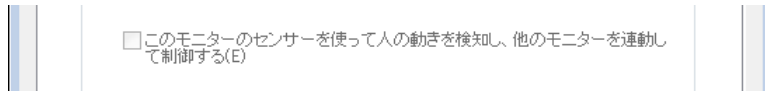
「OK」をクリックすると、設定が有効になります。

参考

- ・「リセット」をクリックすると、工場調整状態に戻ります。

7-2. マルチモニター環境でのEcoView Sense連動設定

1台のコンピュータに複数のモニターを接続している場合、すべてのモニターのEcoView Senseを連動して制御することができます。



1. 「モニター選択」のプルダウンメニューからモニターを選択します

2. 「このモニターのセンサーを使って人の動きを検知し、他のモニターを連動して制御する」をチェックします

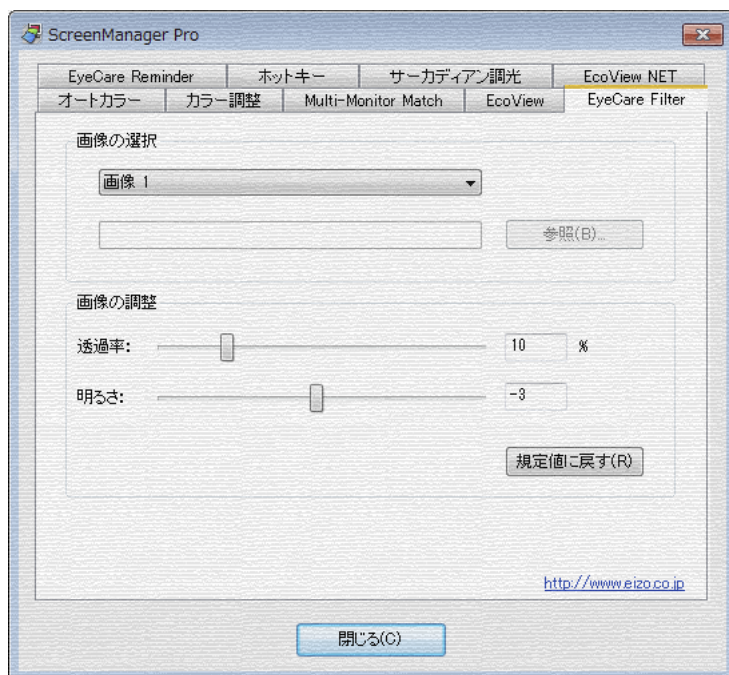
手順1で選択したモニターのセンサーで人の動きを検知します。このモニターが省電力モードに入ると、その他のモニターの電源が切れます。また、このモニターが省電力モードから復帰すると、その他のモニターの電源が入ります。

第 8 章 EyeCare Filter

デスクトップの最前面に、半透明の画像をフィルタとして表示することで紙の質感を再現できます。Paperモードを搭載しているモニターは、Paperモードと組み合わせて使用すると、より紙の見え方に近づけることができます。

注意点

- EyeCare Filterを使用するには、タスクトレイにScreenManager Proアイコンが常駐している必要があります。
- モニターをPbyPまたはPinPで表示している場合、EyeCare Filterは使用できません。



1. 「画像の選択」のプルダウンメニューから画像を選択します

選択した画像が表示されます。

設定	詳細
画像1～6	あらかじめ6種類の画像を準備しています。 お好みに応じて選択してください。
ファイル選択	任意の画像※1を選択することができます。 「参照」をクリックして、画像ファイルを選択してください。

※1 選択できる画像ファイルの形式は次のとおりです。

ビットマップ (*.bmp)、JPEG (*.JPG、*.JPEG、*.JPE、*.JFIF)、GIF (*.GIF)、TIFF (*.TIF、*.TIFF)、PNG (*.PNG)

参考

- 「なし」を選択すると、フィルタが非表示となります。

2. スライダーを動かして画像の透過率、明るさを調整します

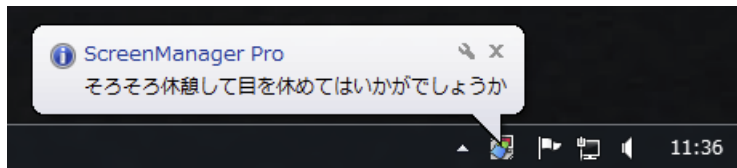
(透過率：0～50%、明るさ：-100～100)

参考

- 「規定値に戻す」をクリックすると、現在選択している画像の透過率、明るさを初期設定に戻します。

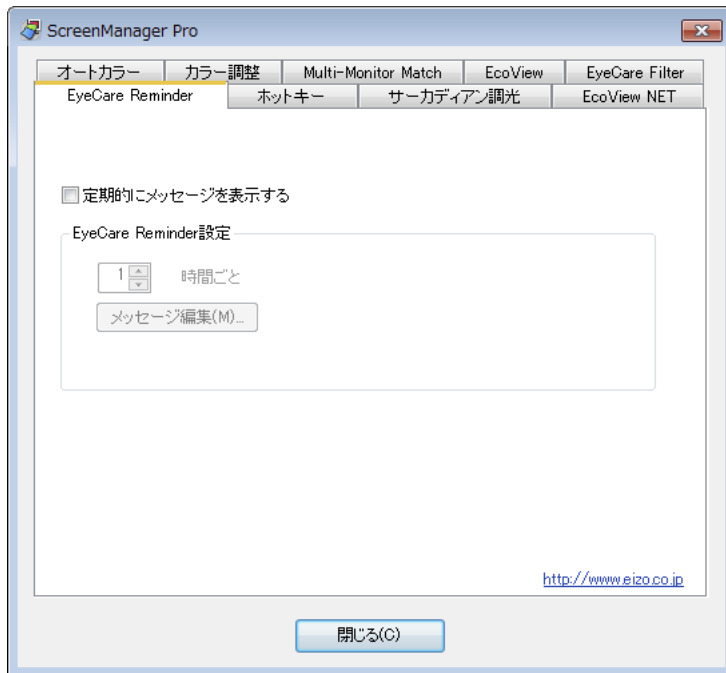
第9章 EyeCare Reminder

任意のポップアップメッセージを定期的に表示させることができます。



注意点

- EyeCare Reminderを使用するには、タスクトレイにScreenManager Proアイコンが常駐している必要があります。



1. 「定期的に表示する」をチェックします

2. メッセージの表示間隔を設定します

1 時間単位で最大24時間まで設定できます。

3. メッセージを編集したい場合は、「メッセージ編集」をクリックします

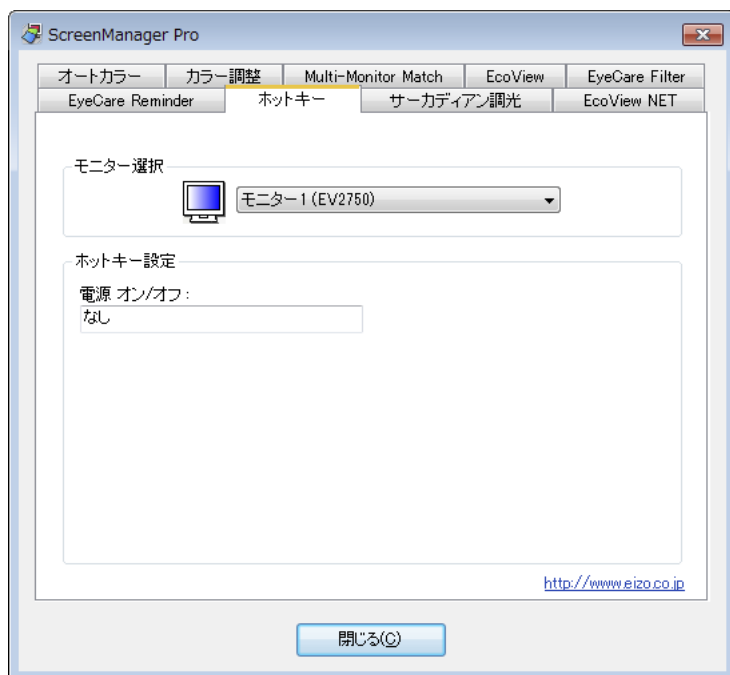
メッセージ編集画面が開き、メッセージ内容を半角255文字（全角127文字）以内で編集することができます。

第 10 章 ホットキー

モニターの電源のオン、オフ操作をキーボードの任意のキーに設定できます。マルチモニター環境で使用している場合、複数のモニターに同じホットキーを設定すると、設定したキーを押すたびに、一斉に電源を入れたり切ったりすることができます。

注意点

- ScreenManager Pro実行中は、ScreenManager Proで設定したキーを他のアプリケーションで使用できません。
- 使用しているアプリケーションに応じてホットキー設定を変えることはできません。



1. マルチモニター環境の場合、設定するモニターを「モニター選択」プルダウンメニューから選択します

参考

- 表示されていないモニターがある場合は、「第 13 章 マルチモニター環境で使用する」(P.25) を参照して手動設定をおこなってください。

2. ホットキーを設定します

ホットキーを設定する項目のボックスにカーソルを移動し、任意のキーを押します。「Delete」キーまたは「Back Space」キーを押すと、ボックスに「なし」と表示され、設定が解除されます。

参考

- 次のようなキーは設定できません。
 - 装飾キー単独 (Shift、Ctrl、Alt) または装飾キーだけの組み合わせ (「Ctrl+Shift」など)
 - システムに登録されているキーの組み合わせ (「Ctrl+Alt+Delete」など)
 - 次のキーの、単独での使用または装飾キーとの組み合わせ
 - Tab、Enter、Esc、Delete、BackSpace、Windows (⊞)
 - 「F12」キー単独
 - 「Shift+Caps Lock」キー

3. 「閉じる」をクリックします

ホットキー設定が有効になります。

第11章 サーカディアン調光

モニターの色温度をサーカディアンリズム（概日リズム）のメカニズムに沿って自動的に変更し、モニターから発生するブルーライトの量を制御します。夕方から夜間にかけてブルーライトの量を低減するように制御すると、睡眠への悪影響を抑えることができます。

一日の中で、色温度を最大にする時刻とその値、最小にする時刻とその値を設定します。この2つの設定の間で色温度が自動的に制御され、30分ごとに色温度が変わります。

最大値と最小値の設定の目安は次のとおりです。

設定	詳細
最大値	時刻： 10:00～14:00の間で日の出と日の入りの中間となる時刻 色温度： 5500K～7500Kの間で好みの値
最小値	時刻： 22:00～2:00の間で日の入りと日の出の中間となる時刻 色温度： 4000K～5000Kの間で好みの値

参考：「サーカディアンリズム（概日リズム）」について

- 「サーカディアンリズム（概日リズム）」とは、人間の目覚めと睡眠の、一日の規則的な生体サイクルのことです。人間は光や気温など、外界からのさまざまな刺激によって、このリズムを自然に調整しています。モニターから発生するブルーライトは、このリズム（特に夜間の睡眠）に影響を与える刺激の一つとされています。リズムを崩さないようにするには、このブルーライトの量を適切に調整することが効果的です。ブルーライトの量は、モニターの色温度を調整することで増減します。色温度を高くすると、ブルーライトが増加して画面が青っぽくなり、色温度を低くすると、ブルーライトが減少して画面が赤っぽくなります。夜寝る前にモニターを見るときは、色温度を低くしてブルーライトの量を減らすと良いとされています。逆に、ブルーライトを夕方から夜間にかけて大量に浴びると、その夜の睡眠に影響を与えるとされています。また、昼間は自然光のように色温度を高くして、ブルーライトを浴びるのがサーカディアンリズムを維持するうえでも良いとされています。

● 動作条件

この機能を使用するには、次のすべての動作条件を満たしている必要があります。

- カラーモードを「User2」に設定している
- PbyP、PinP対応モニターをご使用の場合、モニターの表示設定を「1画面」にしている

サーカディアン調光機能を使用するときにチェックします。

サーカディアン調光機能の詳細設定をおこないます。
「11-1. サーカディアン調光の設定」(P.23) 参照

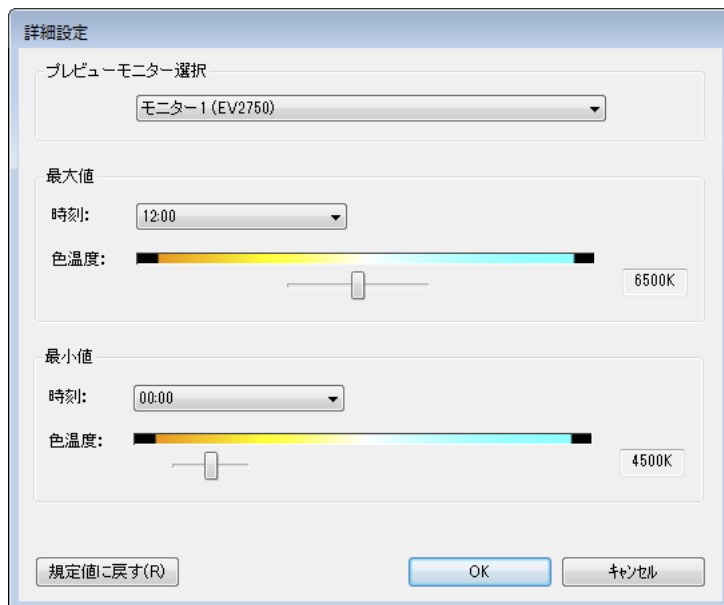
指定したモニターで、色温度の状態変化を確認できます。
「11-2. サーカディアン調光の動作確認（プレビュー）」(P.23) 参照

11-1.サーカディアン調光の設定

1. 「サーカディアン調光を有効にする」をチェックします

2. 「詳細設定」をクリックします

詳細設定画面が表示されます。



3. 色温度の変化を確認するモニターを「プレビューモニター選択」のプルダウンメニューから選択します

4. 色温度の最大値と最小値を設定します

- ・ 最大値： 色温度を最大にする時刻とその値を設定します。
(時刻：10:00～14:00 (30分単位)、色温度：5500K～7500K)
- ・ 最小値： 色温度を最小にする時刻とその値を設定します。
(時刻：22:00～2:00 (30分単位)、色温度：4000K～5000K)

参考

- ・ 「規定値に戻す」をクリックすると、最大値および最小値の設定が初期設定に戻ります。

5. 「OK」をクリックします

11-2.サーカディアン調光の動作確認（プレビュー）

設定した色温度の状態変化を確認できます。24時間を約30秒に短縮してプレビューします。

1. 「プレビュー」をクリックします

「詳細設定」の設定に基づき、色温度が変化します。

プレビューの実行中は、サーカディアン調光が動作中であることを示す画面が表示されます。

第 12 章 EIZO EcoView NET

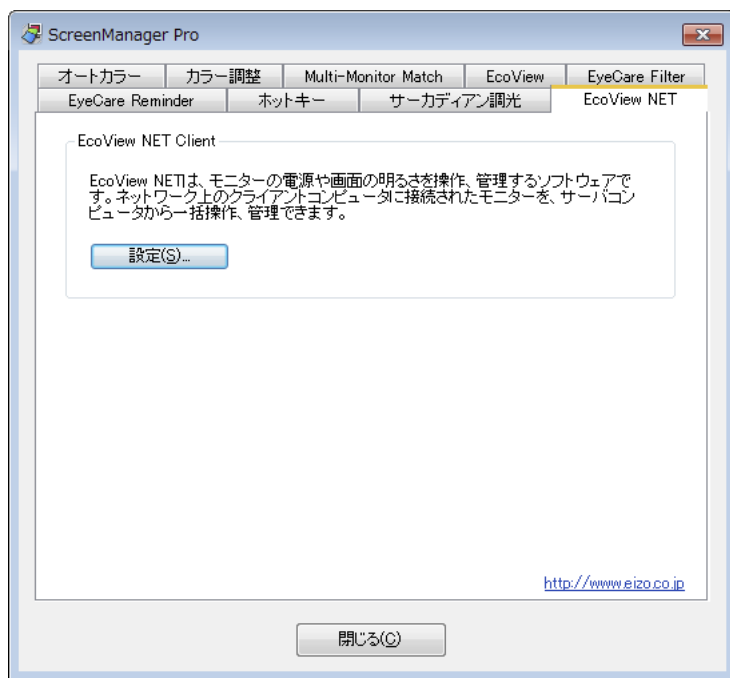
ScreenManager Proをインストールすると、EIZO EcoView NET Clientが同時にインストールされます。EIZO EcoView NETは、ネットワーク上のコンピュータに接続されたモニターの電源や画面の明るさを一括管理するソフトウェアです。

ScreenManager ProからEIZO EcoView NET Clientの設定画面を表示することができます。

参考

- EIZO EcoView NETの詳細は、取扱説明書を参照してください。

1. 「設定」をクリックします



EIZO EcoView NET Clientの設定画面が表示されます。

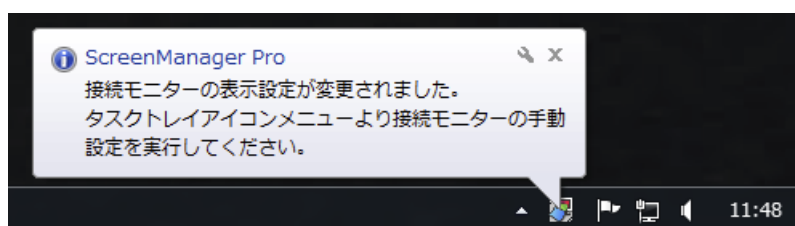


第 13 章 マルチモニター環境で使用する

ScreenManager Proをマルチモニター環境で使用し、複数のEIZOモニターを調整したり操作することができます。

ご使用の前に次の項目を確認してください。当てはまる項目がある場合は、手動調整をおこなってください。

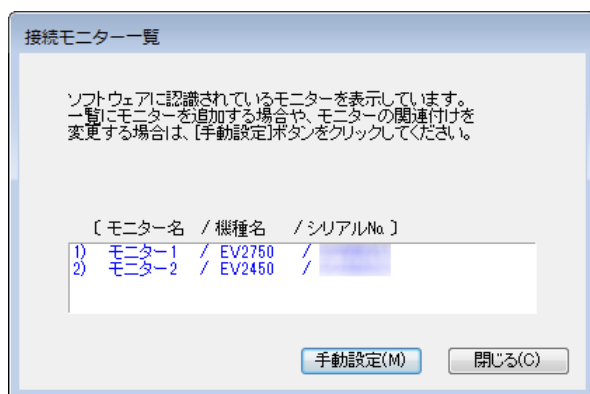
- USBケーブルが正しく接続されている状態で、コンピュータを再起動してもScreenManager Proアイコンが白黒で表示される。
- 設定画面の「モニター選択」プルダウンメニューに、接続されているモニターが表示されていない。
- 対象モニターの制御ができない、あるいは対象とは別のモニターが制御されている。
- PbyP、PinP対応モニターのご使用中に、モニターの表示設定を変更した。
 - その場合、次のようなメッセージが表示されます（ScreenManager Proを終了している場合は表示されません）。



参考

- 「モニター選択」は設定画面（「カラー調整」、「EcoView」、「ホットキー」）で確認することができます。


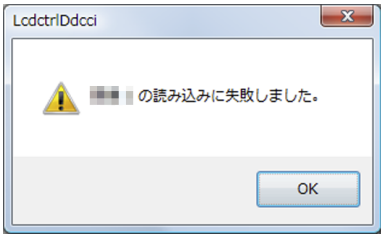
1. タスクトレイのScreenManager Proアイコンを右クリックして、リストから「接続モニター一覧」を選択します



2. 「手動設定」をクリックします

3. 画面の指示に従ってモニターを関連付けます

第 14 章 こんなときは

症状	原因と対処方法
1. アイコンがタスクトレイにない	<ul style="list-style-type: none"> Windows 10の場合、「スタート」-「すべてのアプリ」-「EIZO」-「ScreenManager Pro Ver. x.x.x」をクリックして起動します。 Windows 8.1の場合、「スタート」画面で⓪をクリックし、「アプリ」-「ScreenManager Pro Ver. x.x.x」をクリックして起動します。 Windows 8の場合、「スタート」画面で「ScreenManager Pro Ver. x.x.x」と表示されたタイルをクリックして起動します。 Windows 7の場合、「スタート」-「EIZO」-「ScreenManager Pro」-「ScreenManager Pro Ver. x.x.x」をクリックして起動します。
2. アイコンが白黒表示される 	<ul style="list-style-type: none"> USBケーブルが接続されているか確認してください。 コンピュータの電源を切り、再度電源を入れてみてください。 以上の方法を試してもアイコンが白黒表示される場合は、「第 13 章 マルチモニター環境で使用する」(P.25) を参照して手動設定をおこなってください。
3. オートカラーが機能しない	<ul style="list-style-type: none"> オートカラーを機能させるためには、タスクトレイに ScreenManager Proアイコンが常駐している必要があります。 「オートカラー」タブの「オートカラーを有効にする」をチェックしているか確認してください。 ScreenManager Proの設定画面を終了してください。設定画面を終了すると設定が有効になります。
4. 「Multi-Monitor Match」タブの「調整」ボタンをクリックできない	<ul style="list-style-type: none"> Multi-Monitor Match機能を使用するには、1 台のコンピュータに複数のモニターを接続する必要があります（「動作条件」(P.14) 参照）。
5. 次のようなメッセージが表示される 	<ul style="list-style-type: none"> 選択した画像ファイルが破損している可能性があります。画像ファイルが破損していないか確認してみてください。 選択した画像ファイルが選択可能なファイル形式か確認してください（「第 8 章 EyeCare Filter」(P.19) 参照）。
6. ホットキーが機能しない	<ul style="list-style-type: none"> ScreenManager Proの設定画面を終了してください。設定画面を終了すると設定が有効になります。
7. サーカディアン調光が動作しない	<ul style="list-style-type: none"> サーカディアン調光機能の動作条件を満たしているか確認してください（「第 11 章 サーカディアン調光」(P.22) 参照）。
8. マルチモニター環境で対象モニターの調整および操作ができない/別のモニターが調整および操作される	<ul style="list-style-type: none"> USB接続されたモニターとソフトウェアが正しく関連付けられていない可能性があります。「第 13 章 マルチモニター環境で使用する」(P.25) を参照して手動設定をおこなってください。

第 15 章 用語集

色温度

白色の色合いを数値的に表したものを色温度といい、K：Kelvin（ケルビン）で表します。炎の温度と同様に、画面は温度が低いと赤っぽく表示され、高いと青っぽく表示されます。

5000K：やや赤みがかった白色

6500K：昼光色と呼ばれる白色

9300K：やや青みがかった白色

ガンマ

一般に、モニターは入力信号のレベルに対して非直線的に輝度が変化していきます。これをガンマ特性と呼んでいます。画面はガンマ値が低いとコントラストが弱く、ガンマ値が高いとコントラストが強くなります。

ゲイン

赤、緑、青それぞれの色の値を調整するものです。液晶モニターではパネルのカラーフィルタに光を通して色を表示しています。赤、緑、青は光の3原色であり、画面上に表示されるすべての色は3色の組み合わせによって構成されます。3色のフィルタに通す光の強さ（量）をそれぞれ調整することによって、色調を変化させることができます。

サーカディアンリズム（概日リズム）

人間の目覚めと睡眠の、一日の規則的な生体サイクルのことです。人間は光や気温など、外界からのさまざまな刺激によって、このリズムを自然に調整しています。

モニターから発生するブルーライトは、このリズム（特に夜間の睡眠）に影響を与える刺激の一つと言われています。リズムを崩さないようにするには、このブルーライトの量を適切に調整することが効果的です。ブルーライトの量は、モニターの色温度を調整することで増減します。色温度を高くすると、ブルーライトが増加して画面が青っぽくなり、色温度を低くすると、ブルーライトが減少して画面が赤っぽくなります。

付録

商標

HDMI、HDMI High-Definition Multimedia InterfaceおよびHDMIロゴは、HDMI Licensing, LLCの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

VESAはVideo Electronics Standards Associationの登録商標です。

Acrobat、Adobe、Adobe AIR、PhotoshopはAdobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国およびその他の国における登録商標です。

AMD Athlon、AMD OpteronはAdvanced Micro Devices, Inc.の商標です。

Apple、ColorSync、eMac、iBook、iMac、iPad、Mac、MacBook、Macintosh、Mac OS、PowerBook、QuickTimeはApple Inc.の登録商標です。

ColorMunki、Eye-One、X-RiteはX-Rite Incorporatedの米国および/またはその他の国における登録商標または商標です。

ColorVision、ColorVision Spyder2はDataColor Holding AGの米国における登録商標です。

Spyder3、Spyder4、Spyder5はDataColor Holding AGの商標です。

ENERGY STARは米国環境保護庁の米国およびその他の国における登録商標です。

GRACoL、IDEAllianceはInternational Digital Enterprise Allianceの登録商標です。

Japan Color、ジャパンカラーは一般社団法人日本印刷産業機械工業会および一般社団法人日本印刷学会の日本登録商標です。

JMPAカラーは社団法人日本雑誌協会の日本登録商標です。

LinuxはLinus Torvalds氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。

NECは日本電気株式会社の登録商標です。

PC-9801、PC-9821は日本電気株式会社の商標です。

NextWindowはNextWindow Ltd.の商標です。

Intel、Intel Core、Pentium、Thunderboltは米国およびその他の国におけるIntel Corporationの商標です。

PowerPCはInternational Business Machines Corporationの登録商標です。

PlayStation、PS3、PSP、プレイステーションは株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。

RealPlayerはRealNetworks, Inc.の登録商標です。

Red HatはRed Hat, Inc.の登録商標です。

TouchWareは3M Touch Systems, Inc.の商標です。

Windows、Windows Media、Windows Vista、SQL Server、Xbox 360、Internet Explorerは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

YouTubeはGoogle Inc.の登録商標です。

FirefoxはMozilla Foundationの登録商標です。

Kensington、MicroSaverはACCO Brands Corporationの登録商標です。

EIZO、EIZOロゴ、ColorEdge、DuraVision、FlexScan、FORIS、RadiCS、RadiForce、RadiNET、Raptor、ScreenManagerはEIZO株式会社の日本およびその他の国における登録商標です。

ColorNavigator、EcoView NET、EIZO EasyPIX、EIZO Monitor Configurator、EIZO ScreenSlicer、G-Ignition、i・Sound、Re/Vue、Screen Administrator、UniColor ProはEIZO株式会社の商標です。

C@T-one、FlexViewはEIZO株式会社の日本登録商標です。

その他の各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。



EIZO株式会社

<http://www.eizo.co.jp>

Copyright © 2014-2015 EIZO株式会社 All rights reserved.

第3版 2015年8月

03V25121C2
(U.M-SMPRO)